

幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会資料

横浜市取り組み



令和4年5月23日(月)

横浜市こども青少年局 保育・教育支援課
幼保小連携担当課長 田村憲一

大都市ならではの規模や
多様性を踏まえた架け橋
プログラムの創造

～「よこはま☆保育・教育宣言」
を架け橋期で具現化する試み～

大都市ならでの規模

小学校…338校

幼保等…約1700園

「よこはま☆保育・教育宣言」

横浜の保育・教育施設の全ての職員が、乳幼児期の子どもに対して何を大切にして子どもたちと日々関わるかの基本となるものです。

よこはま☆保育・教育宣言
～乳幼児の心もちを大切に～

横浜の保育・教育施設の全ての職員が、
乳幼児期の子どもに対して何を大切にし
子どもたちと日々関わるかの基本となるものです。

横浜市こども青少年局
令和2年9月



「よこはま☆保育・教育宣言」

宣言1 安心できる環境をつくり、
一人ひとりを大切に保育します

宣言2 子どもの育ちと学びを支える
主体的な遊びを大切にします

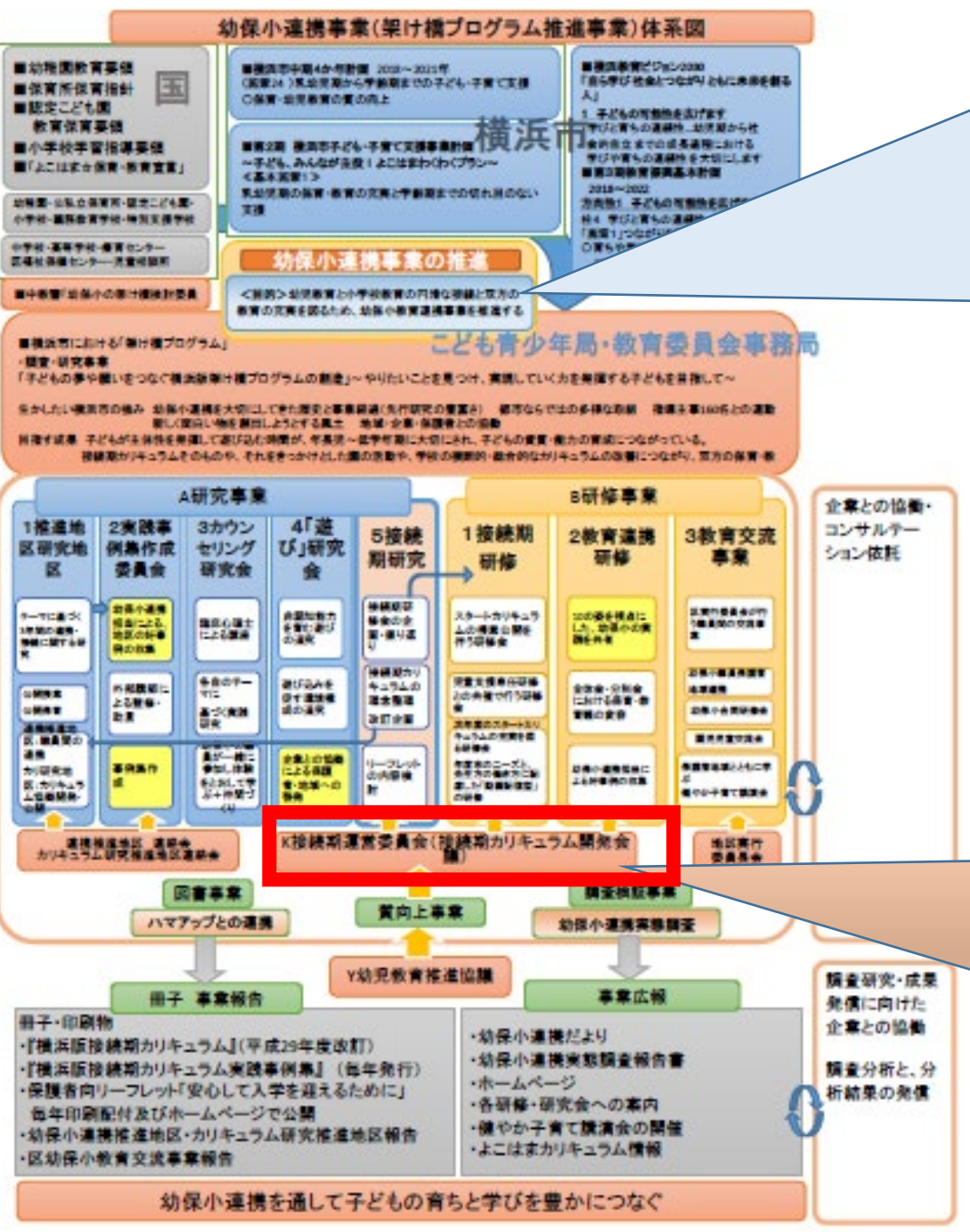
大都市ならではの規模や 多様性を踏まえた架け橋 プログラムの創造

～「よこはま☆保育・教育宣言」
を架け橋期で具現化する試み～

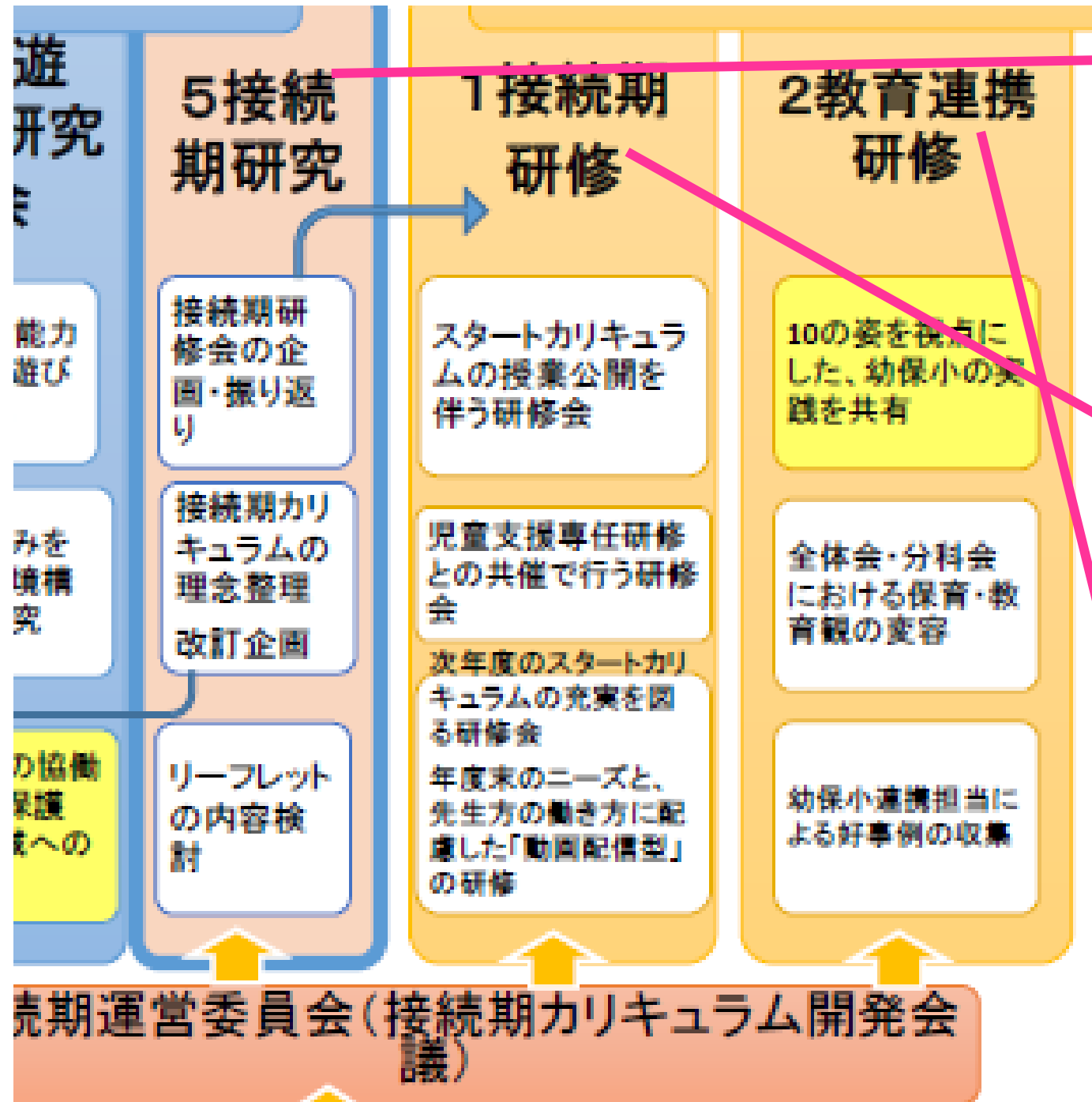
横浜市の強み

- 豊富な先行研究 ・ 実践
- 既存の検討組織
- 「保育 ・ 教育宣言」
- 教委事務局との協働

幼児教育と小学校教育の円滑な接続と双方の教育の充実を図るため、幼保小教育連携事業を推進する。



接続期運営委員会(架け橋期のカリキュラム開発会議)



接続期研究

接続期研修

教育連携研修

横浜市の連携の現状

スタートカリキュラム

実施率…100% (小)

接続を意識した取組み

実施率…85% (園)

多様性

多様な保育・教育内容

多様な中心課題

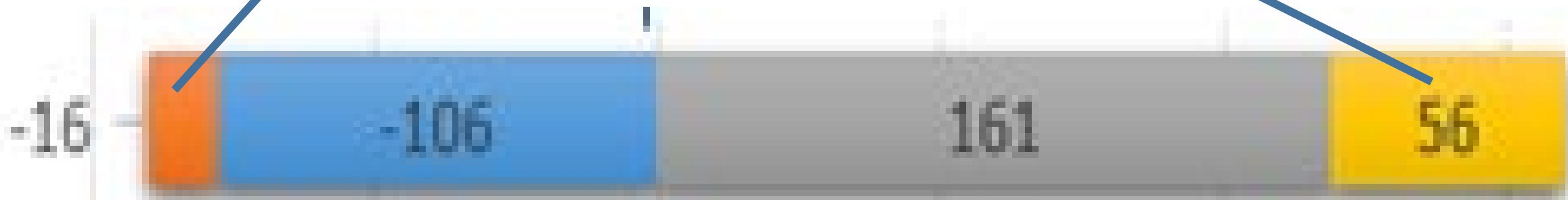
多様な環境・地域性

温度差（小学校）

教室のレイアウトを変更したり、フリースペースや体育館、校庭などの環境設定を工夫したりし、子どもが主体的に、自由に遊ぶ時間を確保した（なかよしタイム）

全くあてはまらない

とてもあてはまる



温度差（園）

近隣の小学校、または連携先の小学校が実施する「スタートカリキュラム」について、園の職員（園長や年長児担任、担当者等）が知る機会を設定した

全くあてはまらない

とてもあてはまる



調査研究の目的

「よこはま☆保育・教育宣言」の活用を通して

- 架け橋期の子どもたちの遊び・学びの充実
- 多様性に対応したカリキュラムマネジメントの実現
- 職員・保護者・市民の対話機会の増加

取組みの方向性

「何をやるか」から「何のためにやるか」

保育・教育宣言～安心・主体的な遊び～

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに
子どもの姿から語り合う場

多様な実践事例

「宣言」の周知

事例の収集 ⇔ 取組への支援

成果物（接続期カリキュラム）の作成

効果的な発信